

なごおが Photo ウオ ン ズ ダ

◀とれたて！笠岡諸島産だよ！

6月5日、神島外浦港埋立地で最初の「笠岡諸島の鮮魚市」が開催されました。これは、とれたての海の幸を販売することで、笠岡諸島産ブランドの確立を図ろうと、市漁協青壮年部が主催したものです。

大漁旗で飾られた会場では、朝早くから市内外からたくさんの方が訪れ、ところ狭しと並べられた新鮮な魚介類を買い求めていました。

この鮮魚市は毎週日曜日の8時から開催されています。



▶おいしいお米ができるといいな！

北川小学校の5年生22名が6月17日、同小のふれあい水田で田植え体験を行いました。子どもたちは、地区の老人クラブや公民館の人たちとともに、一列に並んで一斉に田植えをしました。なかには、泥に足がはまって転びそうになっていた子も。田植えを終えてからは、みんな「ふれあい水田」と書かれたかわいい看板を設置しました。

このお米は秋に収穫して、12月にみんなでおもちにして食べるそうです。

◀源平の時代がよみがえる…金浦の伝統行事

6月11日と12日の両日、金浦の伝統行事である「ひったか」「おしぐらんど」が開催されました。

11日に行われた「ひったか」では、吉田川を挟んで西の妙見山と東の行者山に提灯で絵模様が描かれます。今年は「晴れの国おかやま国体」にちなんで、両者とも「ももっち」が描かれました。

12日は今年、市の重要無形民俗文化財に指定されたばかりの「おしぐらんど」。これは、平家と源氏に分かれての和船のこぎくらべで、保存会同士のダイナミックなレースのほか、外国人や地元金浦の小・中学生が参加してのレースなどで盛り上がりました。



▶自己記録の更新を 目指して

6月18日、第39回笠岡市中学校陸上競技大会が開催され、市内の中学生231人が参加しました。

今年4月に完成したばかりの笠岡陸上競技場で行われた今回、選手たちは真新しいトラックやフィールドの感触を確かめながら、自己記録の更新を目指して200m走や走り幅跳びなどの種目に挑んでいました。

